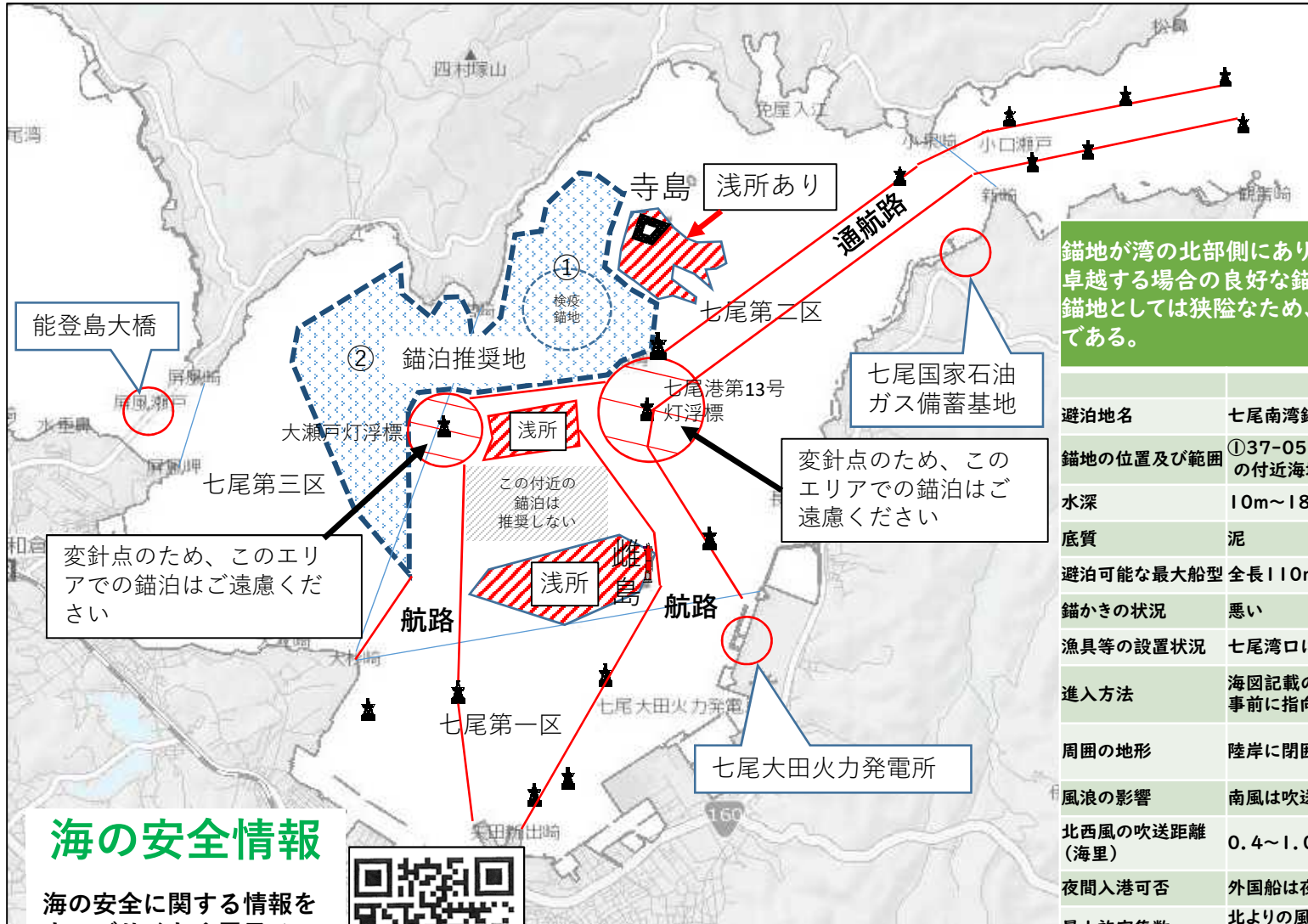


船橋に備え置いてください！ 七尾港の地域的情報（参考）

R2.6 作成

TEL.0767-52-9118

七尾海上保安部



錨地が湾の北部側にあり陸岸からの距離が近いので、北よりの風が卓越する場合の良好な錨地である。岩のある浅所が点在することや、錨地としては狭隘なため、進入時の進路、走錨の恐れに注意が必要である。

避泊地名	七尾南湾錨地
錨地の位置及び範囲	①37-05.8N/136-59.1E ②37-05.5N/136-58.0Eの付近海域(略位置)
水深	10m~18m
底質	泥
避泊可能な最大船型	全長110m程度
錨かきの状況	悪い
漁具等の設置状況	七尾湾口に定置網が出ているため、入出湾時に注意が必要
進入方法	海図記載の進路にて進入すること 事前に指向灯、浮標、浅所の確認をして、避険線を設定すること
周囲の地形	陸岸に閉囲されているため静穏度が高い
風浪の影響	南風は吹送距離が長くなるため注意が必要
北西風の吹送距離(海里)	0.4~1.0
夜間入港可否	外国船は夜間入港、原則不可
最大許容隻数	北よりの風が吹く場合に5000トンの船舶が1~2隻のときは、500トン程度の船が6~8隻程度、良好な場所で避泊可能
利用実態	全長100m未満の船舶の利用が多い
その他注意事項	入港船は定置網状況、航路標識、浅所の事前確認が必要 錨泊場所が狭いため、船間距離が近くなる(大型船の利用は不可) 変針点のため、七尾港第13号灯浮標を中心とする半径約600m程度の円内海域と大瀬戸灯浮標を中心とする半径約350m程度の円内海域での錨泊はご遠慮ください 七尾南湾は特定港のため、入出港の届け出が必要

海の安全情報

海の安全に関する情報をウェブサイトや電子メールなどにより、リアルタイムに提供しています。



海の「もしも」は**118番**

第九管区海上保安本部

船橋に備え置いてください！

七尾港の地域的情報（参考）

1. 気象の特性（風向、風速）

金沢地方気象台観測の七尾の観測史上の1位から10位の最大風速をみると、ほぼ南西の風が占めている。

2. 錨地の特性

(1) 四季を通じて比較的平穏な錨泊地である。

(2) 第1区、第2区及び第3区に分かれており、危険物積載船が錨泊するときは、第2区又は第3区に錨泊しなければならない。

(3) 第2区にある検疫錨地付近は、水深約17m、底質は泥で、北西の風を防ぎ5,000トン以下の船舶の錨泊に適している。

(4) 第2区から第3区にまたがる水深10m以上の場所は、1000トン以下の船舶が多く利用している。

(5) 第3区は、底質は泥で、水深は西に向かうほど浅い。

(6) 岩のある浅瀬が点在しており、錨地としては狭隘である。

(7) 南風は吹送距離が長くなるため注意が必要である。

3. 荒天時の錨泊実態

(1) 内航船によく利用されている。荒天時には10～12隻の避泊利用がある。

(2) 外国船の避泊はほとんどない。

4. 過去海難の発生状況

平成3年の台風19号により5隻が走錨し、うち4隻が浅瀬に乗揚げた。

緊急連絡先


海の「もしも」は118番

●七尾海上保安部(七尾港長)

〒926-0015 七尾市矢田新町二部173
TEL.0767-52-9118

●能登海上保安署

〒927-0553 鳳珠郡能登町字小木21字
173-3
TEL.0768-74-8118

 各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。

七尾海上保安部

第九管区海上保安本部

R2.6 作成